

私たちの周囲には様々な「情報」が満ちあふれています。情報の無い生活は考えられません。ですから、情報とどのように付き合っていくのかは、これから社会生活を送っていくうえで常に意識しなければならないことかもしれません。

このような問題意識を踏まえて、以下の問題に答えなさい。

問1

資料1と資料2は、日本新聞協会（全国の新聞社や通信社で作る団体）が公表しているデータです。この二つの資料から読み取れることはどのようなことで、それに対してあなたはどのような感想や考えを持ちますか。400字以内で述べなさい。なお、資料2は、月に1回以上新聞を読んでいる人に対する調査です。（40点）

問2

資料3-①～③はノルウェーにおける読書生活について、資料4-①、②は2010年に電子書籍の持つ可能性について書かれた文章です。二つの文章を読み、問1で述べた内容をふまえて、これからの情報社会における読書（あるいは情報を読むこと）の在り方についてのあなたの考えを600字以内で述べなさい。（60点）

出典

資料1 「新聞の発行部数と世帯数の推移」日本新聞協会ウェブサイト
<https://www.pressnet.or.jp/data/circulation/circulation01.pdf>
 （アクセス日 2019年7月9日）

資料2 「情報の種類と入手メディア」同上
<https://www.pressnet.or.jp/adarc/date/audience/files/report2018.pdf>
 （アクセス日 2019年7月9日）

資料3 マグヌスセン矢部直美・吉田右子・和気尚美『ノルウェーの図書館』新評論（2013）
 pp. 240-248

資料4 池澤夏樹編『本は、これから』岩波新書（2010）pp. 161-167